



人権教育だより

那須町立高久小学校
令和8年3月4日発行
第10号

《1年間を振り返って》

今年度も人権教育に関する様々な活動を行ってきました。今回の人権教育だよりでは、授業づくり、人間関係づくり、環境づくりの3つの視点から活動を振り返ってみたいと思います。

○授業づくり

- ・ペアやグループでの学び合いを多く取り入れてきました。単元内自由進度学習や全校道徳では、友達や異学年と交流しながら学習に取り組みました。
- ・保護者や地域の方にも一緒に学習に参加していただく機会を設けました。
- ・校外での体験活動を多く取り入れました。
- ・人権問題について考え、学ぶことができる授業を多く行ってきました。特に、外国人、女性、子供、災害に伴う人権問題等について考えました。



○人間関係づくり

- ・毎月の人権目標に合わせて設定された様々な課題に取り組む「人権チャレンジ」を行いました。
- ・NA・S・Uタイムの人間関係プログラムでは、人間関係づくりの基本的なスキルを身に付けるために簡単なゲームやソーシャルスキルトレーニングを行ってきました。
- ・縦割り班活動、複数学年での行事の実施、保育園児との交流等、異学年交流を充実させてきました。
- ・様々な学校行事に地域の方々に参加していただき、高齢者や地域の方と交流してきました。



○環境づくり

- ・人権週間では、人権について考えたりより深く理解したりできるように、人権教室、人権集会、人権標語の掲示、人権に関する本の紹介等を行いました。
- ・人権について興味・関心がもてるように、人権コーナーを充実させました。
- ・児童や保護者の方を対象にした人権教室、研修会を実施しました。



*保護者や地域の皆様の御協力のおかげで、1年間を通して充実した活動を行うことができました。ありがとうございました。



《人権教育の研究推進状況について》

高久小学校では、昨年度から２年間、文部科学省から人権教育の研究推進校に指定され、研究主題を「自分も相手も大切にできる児童の育成～互いに認め合い、高め合える人間関係づくり・授業づくりを通して～」と設定し、研究を行ってきました。互いのよさを認め合い、よりよい人間関係を築き、生き生きと主体的に行動することのできる児童の育成を目指し、学校教育全体を通じて、人権教育を進めてきました。児童対象に行った人権に関するアンケート結果についてお知らせします。

○児童対象の人権に関するアンケート（一部抜粋）

（事前・事後の変容 R6.10→R7.12）

質 問 項 目	結 果
人権という言葉が身近に感じますか。	87.0% → 91.7%
自分のことは好きですか。	82.6% → 90.5%
自分にはよいところがあると思いますか。	95.7% → 96.4%
自分の気持ちを伝えることはできていますか。	87.0% → 91.7%
困っている人がいたら、声をかけたり、解決するために行動したりしていますか。	93.5% → 95.2%

<成果>

- 今年度も子供や外国人、障害者等の人権問題を取り上げた授業、人権教室、ALTとの交流会、人権チャレンジ等、様々な取組を行ってきました。その結果、児童が人権という言葉が身近なものとして捉えることにつながりました。
- 「自分のことは好きですか。」という質問に対して、肯定的な回答をした児童が大きく増加しました。学習面や生活面で、互いに認め合う雰囲気づくりを各学年で行ってきたことで、自分の良さに気づき、認めようとする児童が増え、自己肯定感が高まったと考えられます。
- NAiS Uタイムの人間関係プログラムや伝え合い・学び合いを活かした授業を行ってきたことが、コミュニケーション力向上につながったと考えられます。自分の考えや思いを伝えることのできる児童が増えてきました。
- 異学年交流や地域の方との交流を通して、相手の立場に立った思いやりのある言動を心掛けるようになってきました。

２年間の研究の中で、様々な人権問題について考えたり、他者との関わり方を学んだりする取組を通して、児童の人権意識と自分も相手も大切にしようとする気持ちを高めることができました。

指定校としての研究は一区切りとなりますが、児童一人一人が自分の良さ、相手の良さを認め、互いに高め合える人間関係を築き、安心して楽しく学校生活を送ることができるよう、今後も研究を進めていきます。引き続き保護者の皆様の御支援、御協力をお願いします。



今年度の人権教育だよりは最終号となります。ここまでご覧いただきありがとうございました。
来年度も、「自分も相手も大切にできる高久小っ子」を目指し、子供たちとともに、頑張っていきます！